宇宙をひもとく物理学

真貝寿明(しんかいひさあき)



10月25日 なぜ円ではなく楕円か ― ケプラーの惑星運動の法則

11月22日 光のドップラー効果 ― 宇宙膨張の法則

12月27日 星は何を燃やしているのか ― 特殊相対性理論

1月24日 時空のゆがみとブラックホール ― 一般相対性理論

2月28日 光は波なのか粒子なのか 一 量子論

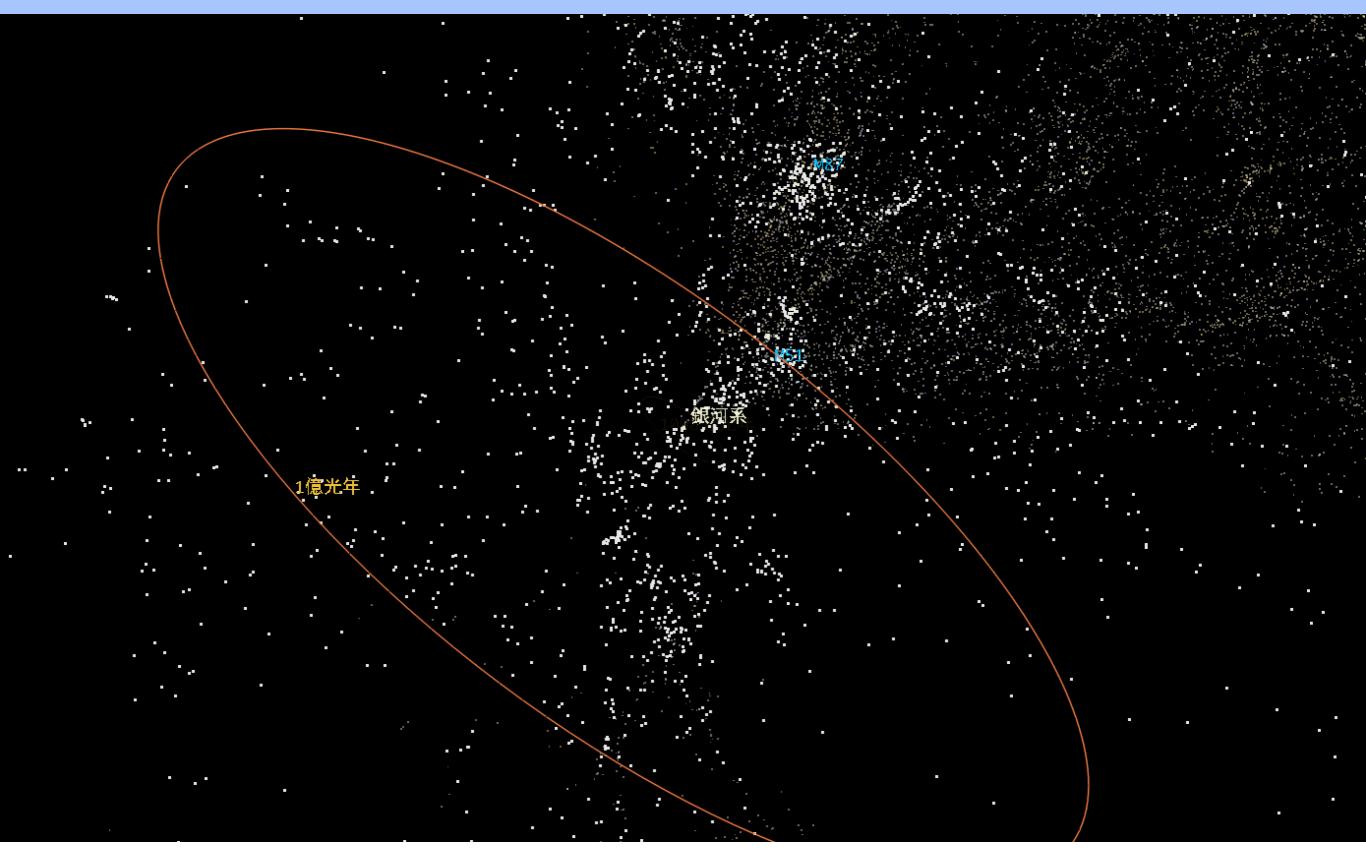
3月28日 解明されている部分は5%? ― 宇宙論

http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/mainichi/

天の川銀河 (our Galaxy)

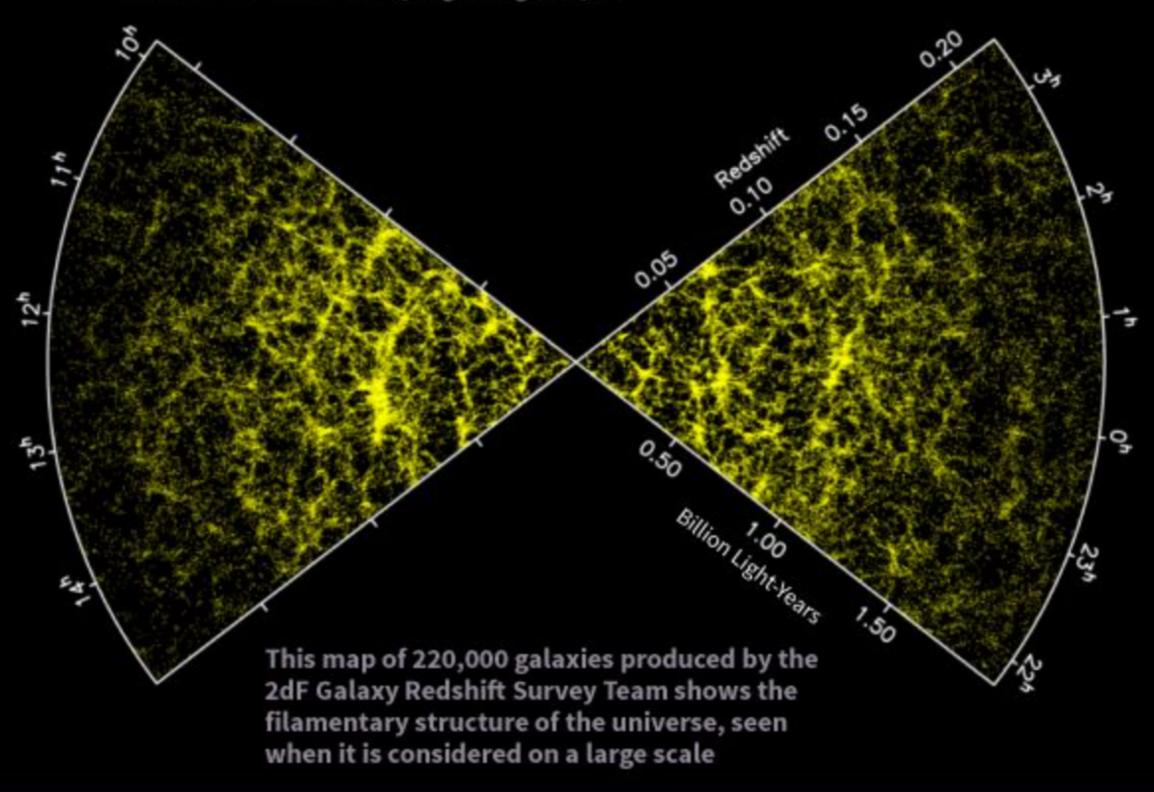


銀河団



LARGE-SCALE STRUCTURE: GALAXIES ACCORDING TO REDSHIFT

The deeper astronomers look into the universe, the more they see that the expansion of the universe has stretched light, shifting it toward the red end of the spectrum. By measuring the amount of redshift, astronomers can determine how far away a given galaxy is.



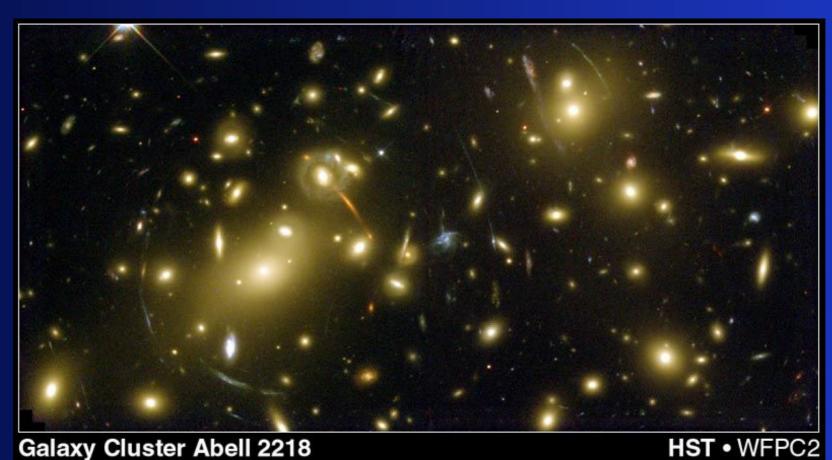


特殊相対性理論

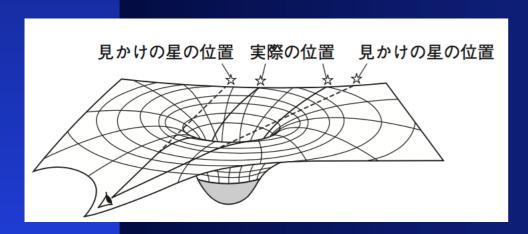
ニュートン力学

F = ma

一般相対性理論の予言【光の曲がり】



NASA, A. Fruchter and the ERO Team (STScI, ST-ECF) • STScI-PRC00-08



一般相対性理論

特殊相対性理論

ニュートン力学

F = ma

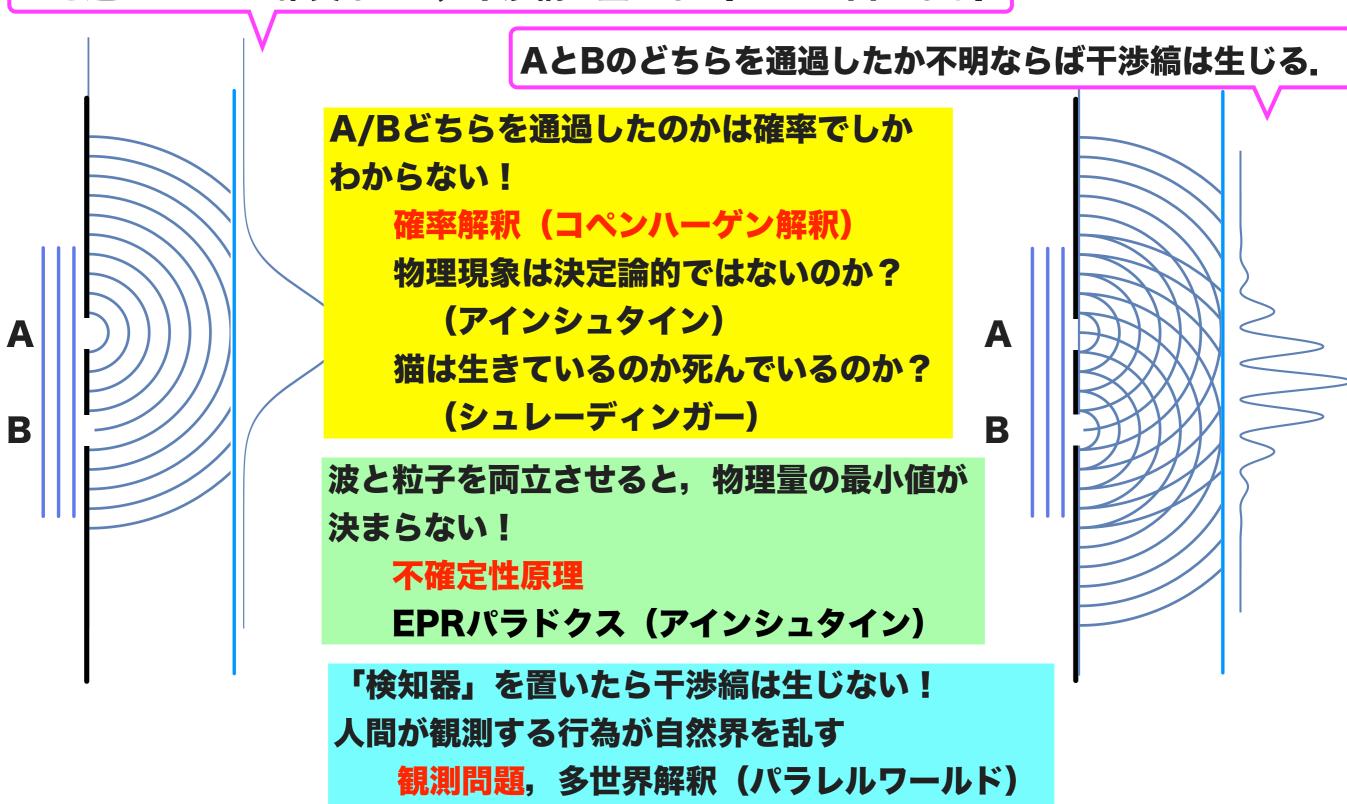
量子力学

量子場の理論

究極の理論 未完成

2重スリット実験

Aを通ったことが確実ならば、干渉縞は生じない、1つの山になる、



物理現象は観測者によって変わるのか?

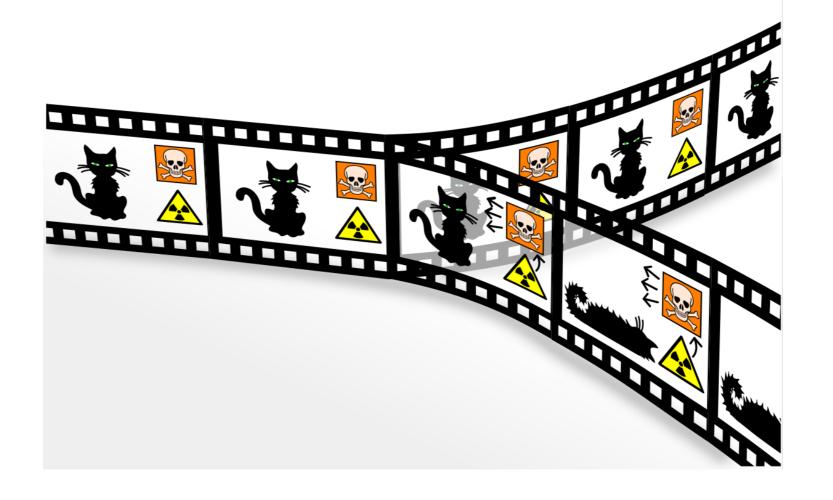
観測問題の解釈の1つ:多世界解釈

Many-worlds interpretation



Hugh Everett (1930-82)

すべてが決定論的であると考えるならば、観測を行 うたびに、世界が分岐していくようなものだ。



"Parallel world"

6. 宇宙論 >> 6.1 宇宙膨張がわかるまで

宇宙原理 (cosmological principle)

宇宙を考える上での大前提

宇宙原理(大意)

私たちは宇宙の中で特別な位置にいるわけではない. (人間が宇宙の中心にいるわけではない.)

宇宙原理(物理用語バージョン)

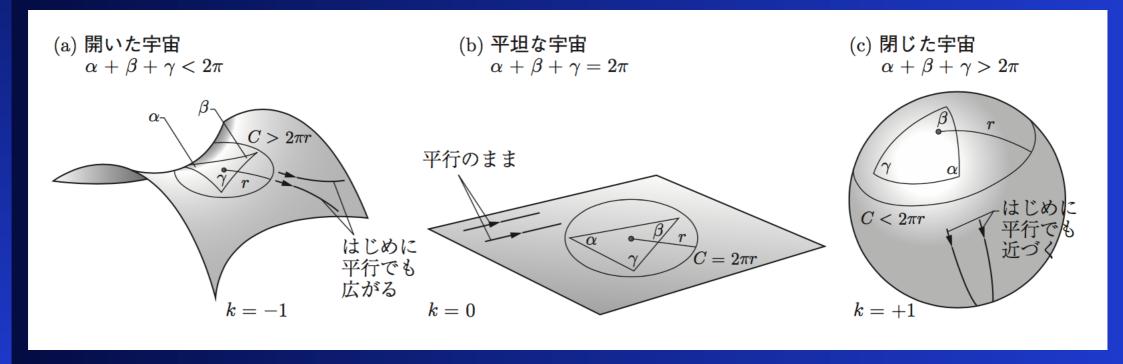
宇宙は巨視的なスケールでは空間的に一様・等方である, すなわち 宇宙空間のすべての点は本質的に同等である.

(宇宙は空間的にでこぼこがなく、どちらを向いても同じである.)

アインシュタイン方程式の解 【フリードマン解、FRW解、LFRW解】

Friedmann, Robertson, Walker, Lemaitre (1920s) 完全流体, 一様等方時空(球対称)でのEinstein方程式の厳密解

$$ds^2 = -c^2 dt^2 + \boxed{a^2(t)} \left[\frac{dr^2}{1-\cancel{k}r^2} + r^2 (d\theta^2 + \sin^2\theta d\varphi^2) \right]$$



開いた宇宙

平らな宇宙

閉じた宇宙

アインシュタインは 膨張宇宙を信じなかった





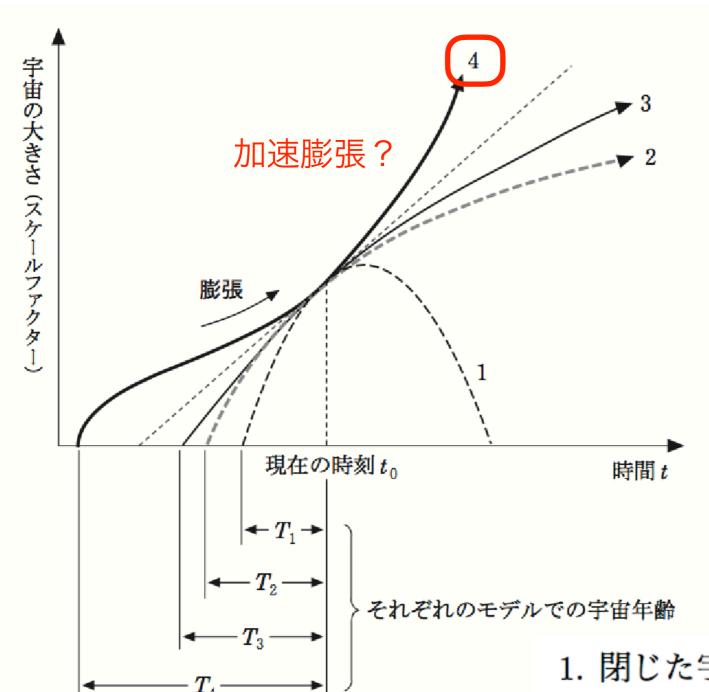
$$R_{\mu\nu} - \frac{1}{2}g_{\mu\nu}R + \Omega g_{\mu\nu} = \frac{8\pi G}{c^4}T_{\mu\nu}$$

→重力(引力)作用に反対する斥力を導入

ただし、不安定なつり合いの解でしかない.

アインシュタインらしくない.

膨張宇宙モデル



- 1. 閉じた宇宙で宇宙項なし. $\Lambda = 0, k = +1$.
- 2. 平坦な宇宙で宇宙項なし. $\Lambda=0, k=0$.
- 3. 開いた宇宙で宇宙項なし. $\Lambda = 0, k = -1$.
- 4. 平坦な宇宙で宇宙項あり. $\Lambda > 0, k = 0$.

アインシュタインは 膨張宇宙を信じなかった



「あなたの計算は正しいが(こんな解を信じるなんて)あなたの物理的センスは言語道断だ.」 (Your calculation is correct, but your physical insight is abominable.)

宇宙が膨張していることはどうしてわかったのか?

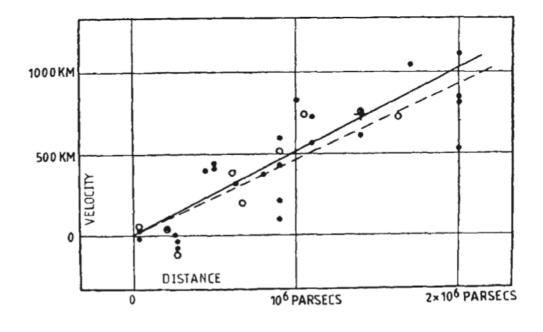
1929年 宇宙膨張の発見

ハッブルの宇宙膨張の法則(1929年)

$$v = H_0 d (5.9)$$

銀河の後退速度 = ハッブル定数 $H_0 \times$ 銀河までの距離

H = 530 km/s/Mpc



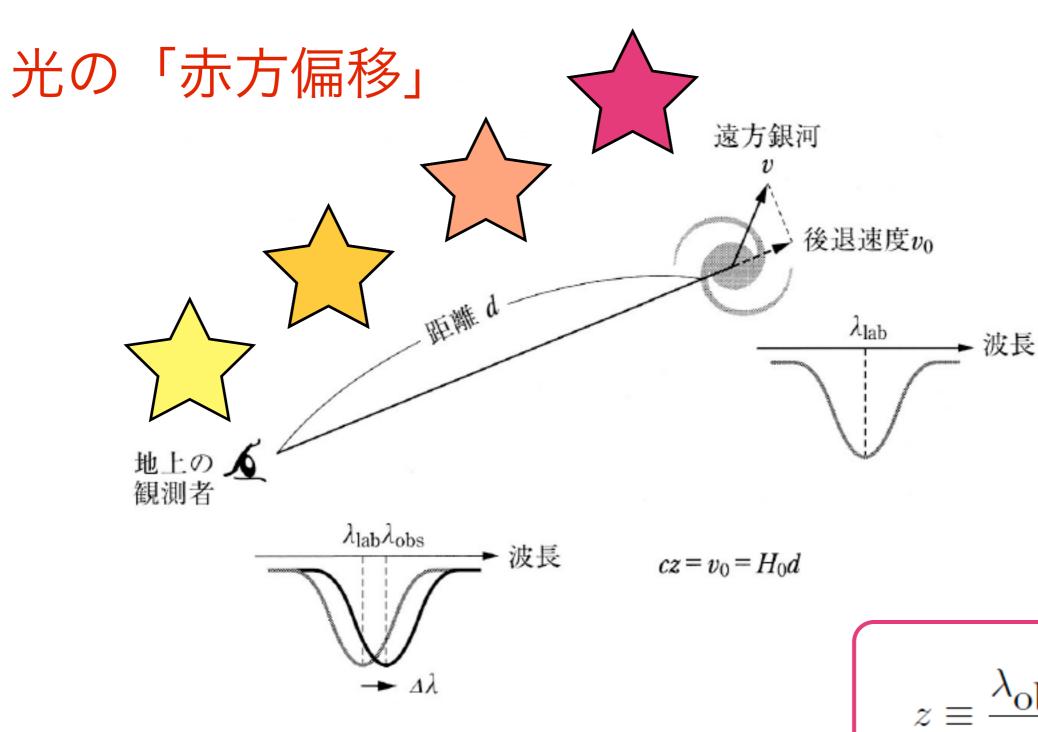
Edwin Powell Hubble (1889–1953)



図 5.7 ハッブルが 1929 年に発表した図. 横軸は距離,縦軸は銀河の後退速度. このグラフの傾きがほぼ一定になることが,ハッブルの法則である. ハッブルが報告した値は, $H_0=530\,\mathrm{km/s/Mpc}$ だった. 現在値は $H_0=68\,\mathrm{km/s/Mpc}$.

光の「ドップラー効果(赤方偏移)」から

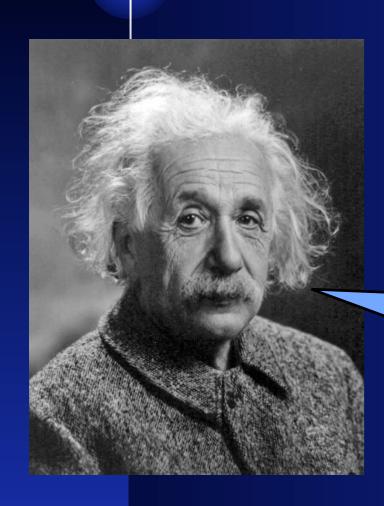
宇宙が膨張していることはどうしてわかったのか?



赤方偏移パラメータ

$$z \equiv \frac{\lambda_{\rm obs} - \lambda_S}{\lambda_S}$$

アインシュタイン, 膨張宇宙をついに信じる

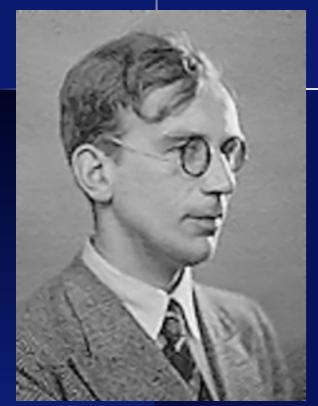


Einstein, 1947

$$R_{\mu\nu} - \frac{1}{2}g_{\mu\nu}R + \Delta g_{\mu\nu} = \frac{8\pi G}{c^4}T_{\mu\nu}$$

「宇宙項の導入はわが人生最大の過ちであっ た」 (Introduction of cosmological constant is the biggest blunder in my life.)

火の玉宇宙論の誕生



ガモフ

宇宙膨張が本当なら、過去は小さな宇宙だったはず、宇宙のはじまりは、すべての物質とエネルギーが集まり、非常に高温で高密度の状態だったことになる。

1946年, ガモフ, 「宇宙が高温高密度の火の 玉の状態だったときに, 短時間で元素が合成されていった」 1948年, αβγ, 「高温高密度の宇宙初期に

起こる核反応で、すべての元素がつくられる」

The Origin of Chemical Elements

R. A. ALPHER*

Applied Physics Laboratory, The Johns Hopkins University, Silver Spring, Maryland

AND

Н. ВЕТНЕ

Cornell University, Ithaca, New York

AND

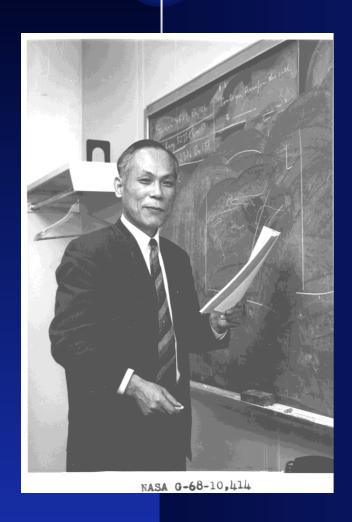
G. Gamow

The George Washington University, Washington, D. C. February 18, 1948

A S pointed out by one of us, various nuclear species must have originated not as the result of an equilibrium corresponding to a certain temperature and density, but rather as a consequence of a continuous building-up process arrested by a rapid expansion and cooling of the primordial matter. According to this picture, we must imagine the early stage of matter as a highly compressed neutron gas (overheated neutral nuclear fluid) which started decaying into protons and electrons when the gas

Physical Review, 1948/4/1

林忠四郎 (1920-2010)



1948年, $\alpha\beta\gamma$,「高温高密度の宇宙初期に起こる核反応で,すっての元素がつくられる」

ビッグバン理論 = $\alpha \beta \gamma$ -Hayashi の理論 『元素合成ははじめの3分間で終了』

星の進化

恒星が主系列星となる前に、温度がほぼ一定のまま収縮する時期があることを明らかにした(林フェイズ、林トラック). 恒星に対する最大半径の制約(林の限界線).

太陽系形成モデル

恒星・惑星系の全形成過程をモデル化した(京都モデル、標準モデル)

火の玉宇宙論 vs 定常宇宙論

1948年, $\alpha\beta\gamma$,「高温高密度の宇宙初期に起こる核反応で,すべての元素がつくられる」 1950年、林、「はじめの3分間で軽元素がつくられる」

しかし.

当時の観測データからは、宇宙年齢は18億年 vs 地球の岩石からは、地球年齢は30億年

定常宇宙論

「宇宙に始まりも終わりもない」



Fred Hoyle (1915-2001)

火の玉宇宙論 VS 定常宇宙論 ビッグバン宇宙論

「宇宙には始まりがあった」

宇宙誕生後、3分で軽元素の合成がされた

「宇宙に始まりも終わりもない」

宇宙膨張をしていても新たに物質が生成していれば大丈夫



ガモフ

彼らは宇宙が大きな爆発(ビッグバン) から始まったと言っている

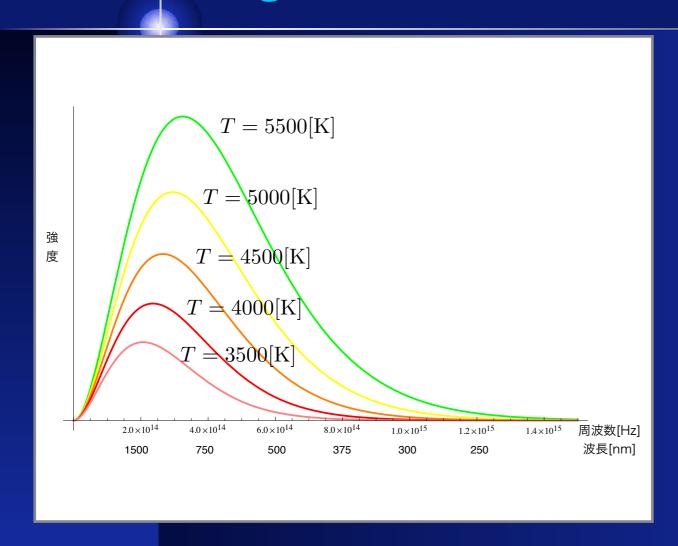
ビッグバン,いい名前だ.ビッグバン宇宙論,と呼ぶことにしよう



ホイル

宇宙マイクロ波背景輻射

Cosmological Microwave Background Radiation (CMB)



黒体放射(黒体輻射)

=物体は、温度に応じて 熱を電磁波の形で放射する

過去に宇宙が高温だったら、 その証拠の「放射」があるはず

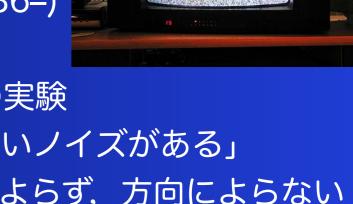
宇宙誕生後、30万年ほど経つと、光がさえぎられずに直進できるようになる。その時の温度が放射されて残っているはず。 約3000 K 宇宙膨張で温度下がって 5-7K 位

1964年、宇宙背景輻射の発見

Discovery of CMB, 1964



Arno A. Penzias (1933-) Robert W. Wilson (1936-)



ベル研究所、電波通信の実験 「どうしても取り除けないノイズがある」 「昼夜によらず、季節によらず、方向によらない ノイズがある」

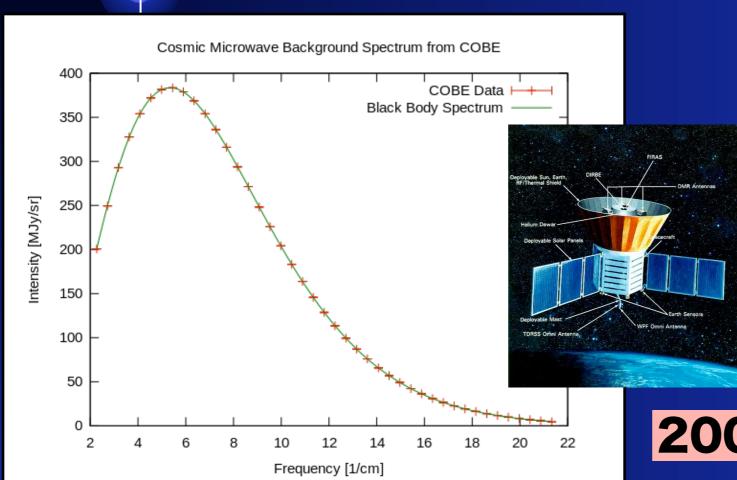
1978年,ノーベル物理学賞受賞

宇宙誕生後、30万年ほど経つと、光がさえぎられずに直進でき るようになる、その時の温度が放射されて残っているはず、

約3000 K 宇宙膨張で温度下がって

COBE衛星によるCMBの測定

Cosmic Background Explorer, 1992



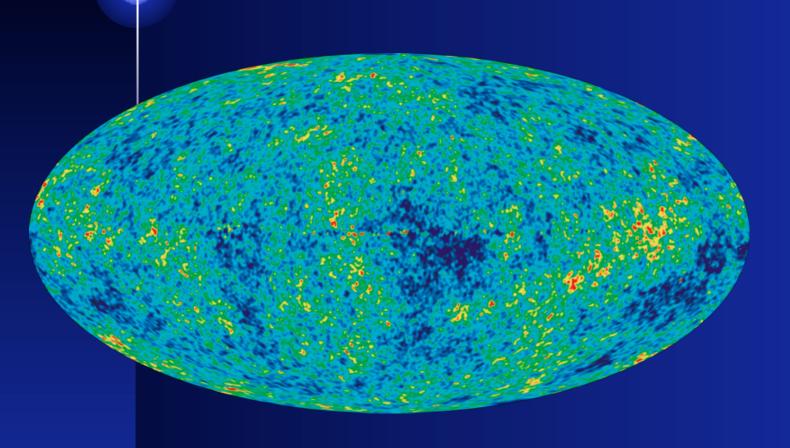
John C. Mather (1946-) George F. Smoot III (1945–)

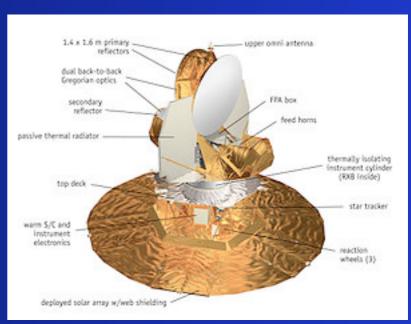
2006年,ノーベル物理学賞受賞

宇宙誕生後、30万年ほど経つと、光がさえぎられずに直進でき るようになる。その時の温度が放射されて残っているはず 約3000 K 宇宙膨張で温度下がって

WMAP衛星によるCMBの測定

Wilkinson Microwave Anisotropy Probe, 2002





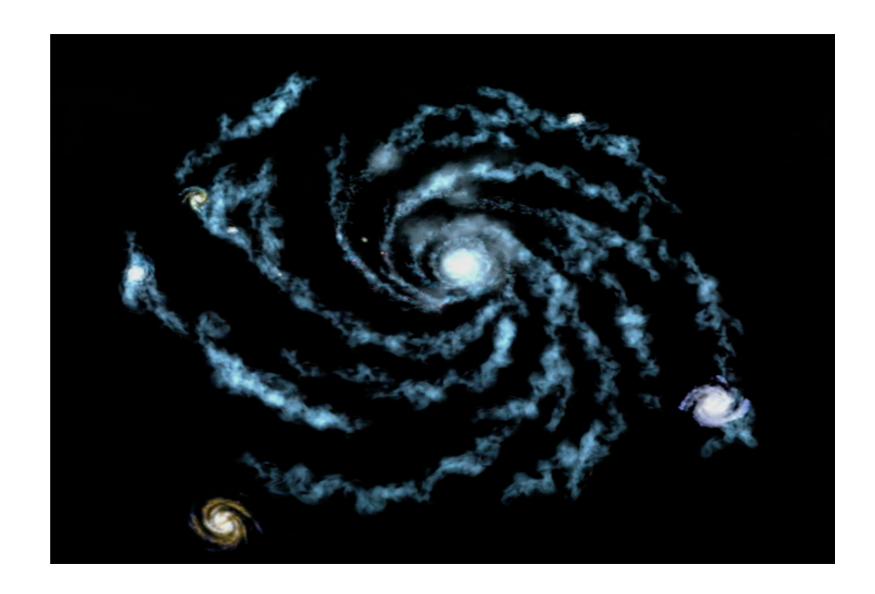
37万9000年

宇宙誕生後、30万年ほど経つと、光がさえぎられずに直進でき るようになる、その時の温度が放射されて残っているはず、

約3000 K 宇宙膨張で温度下がって 2.73 K

2.72548±0.00057 K

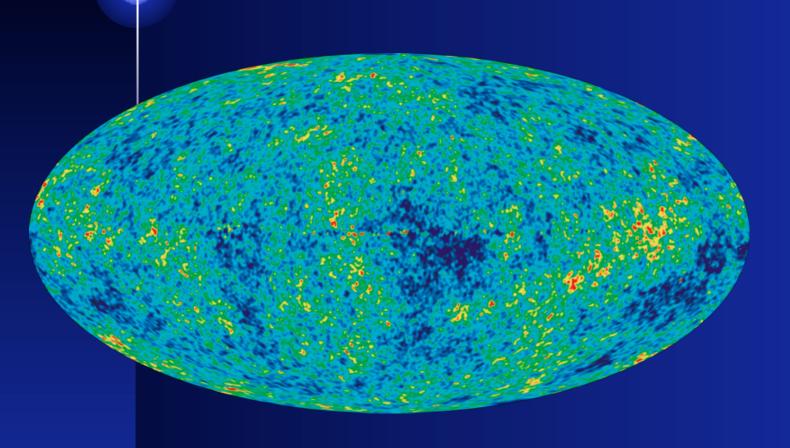
WMAP
Measures
Microwaves
From the
Universe

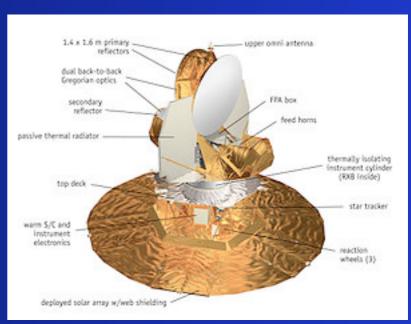


- The mean temperature of photons in the Universe today is 2.725 K
- WMAP is capable of measuring the temperature contrast down to better than one part in millionth

WMAP衛星によるCMBの測定

Wilkinson Microwave Anisotropy Probe, 2002





37万9000年

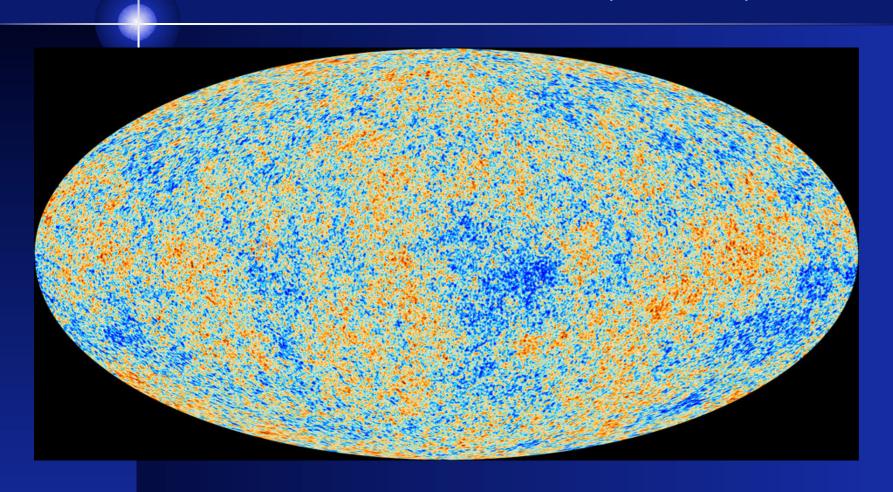
宇宙誕生後、30万年ほど経つと、光がさえぎられずに直進でき るようになる、その時の温度が放射されて残っているはず、

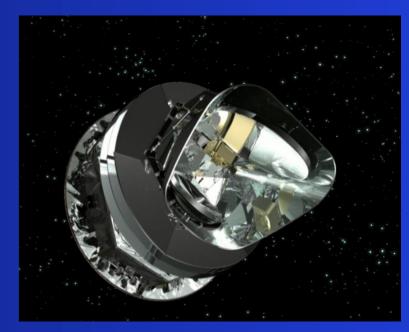
約3000 K 宇宙膨張で温度下がって 2.73 K

2.72548±0.00057 K

Planck衛星によるCMBの測定

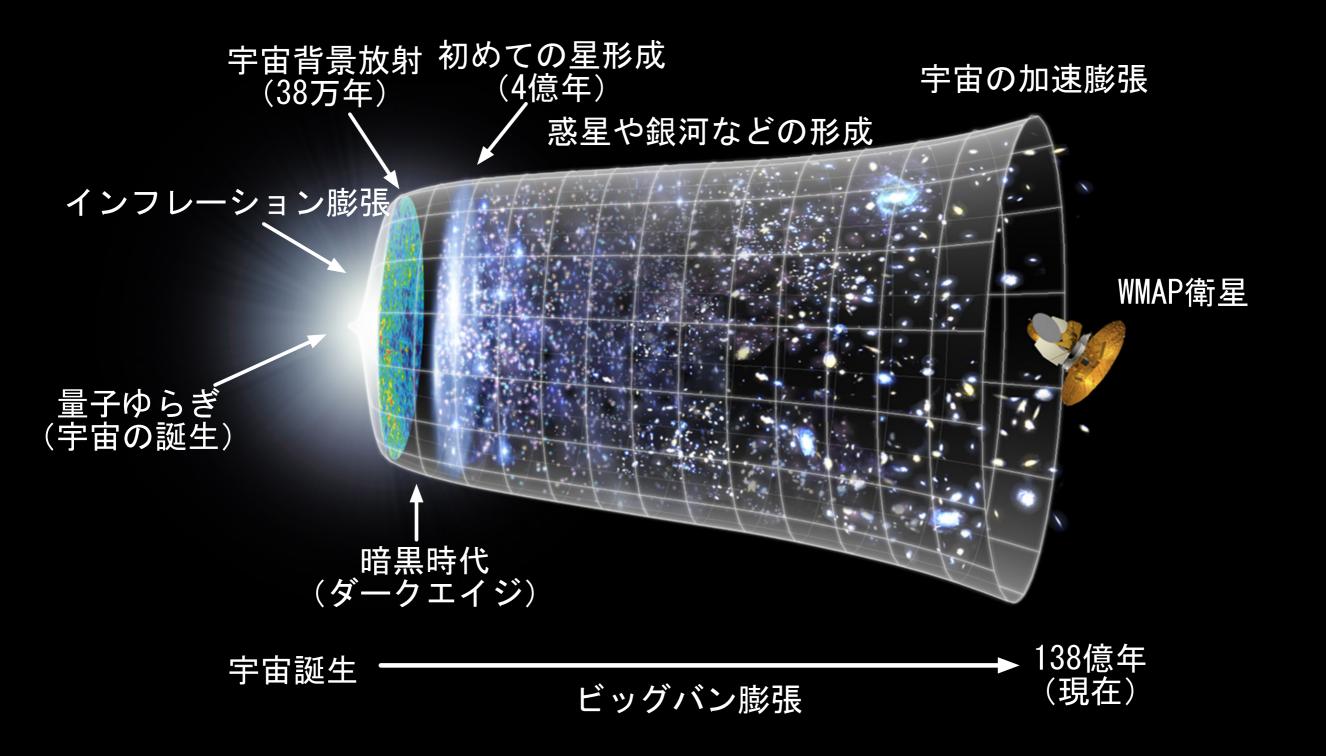
Planck, ESA, 2013





38万年

宇宙誕生後,37万9000年ほど経つと、光がさえぎられずに直進 できるようになる、その時の温度が放射されて残っているはず、 約3000 K 宇宙膨張で温度下がって 2.72548±0.00057

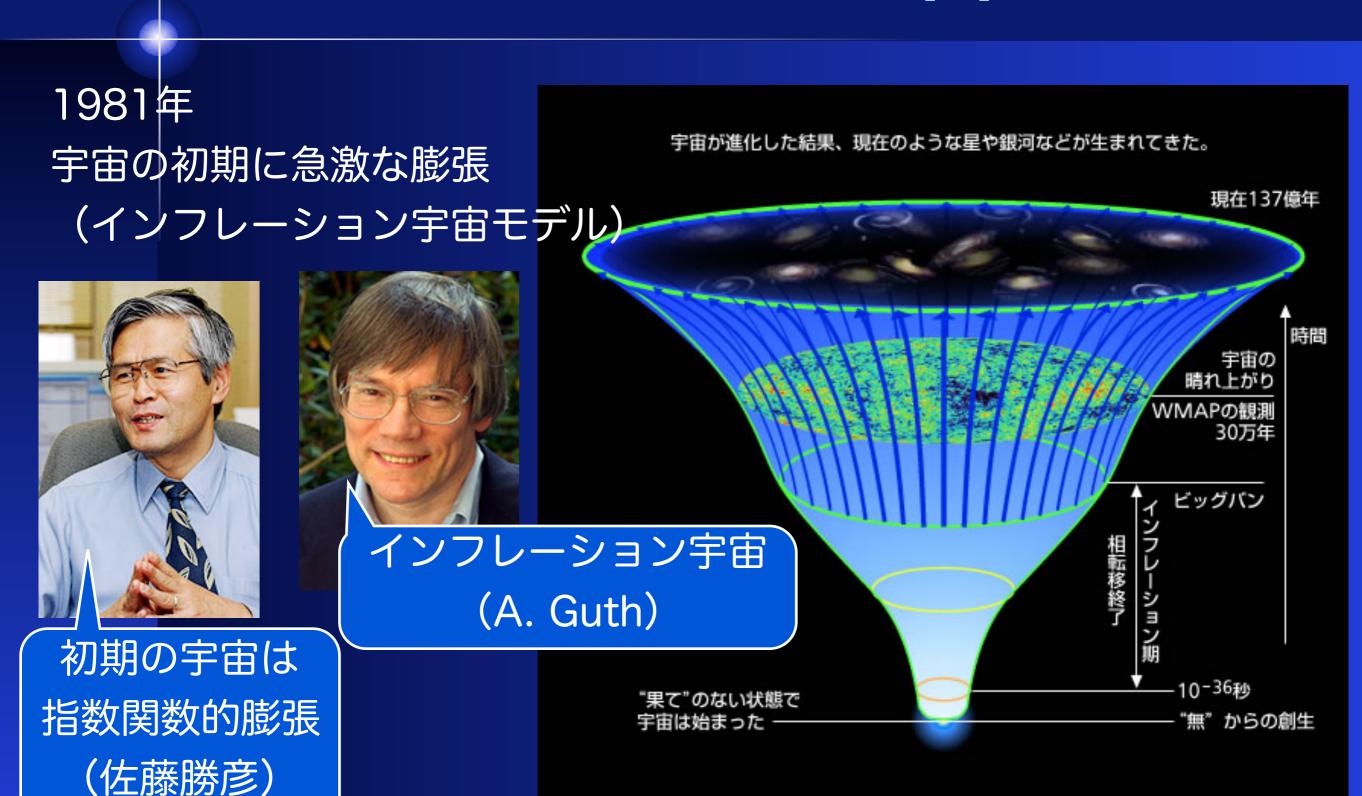


6. 宇宙論 >> 6.3 ビッグバン標準宇宙論

ビッグバン宇宙モデルの問題点

- (A) 地平線問題. なぜ, CMB は全天で一様に近い温度分布を示すのか.
- (B)平坦性問題. なぜ, 現在の宇宙は平坦(曲率が0)に見えるのか.
- (C)**構造形成の種問題**. 星や銀河など物質ができるためのゆらぎはどう やって生まれたのか.
- (D)モノポール問題. 宇宙初期の相転移で生じる位相欠陥のうち, とく にモノポールはどのように消滅していくのか.
- (E)**バリオン数生成の問題**. なぜ, 宇宙には物質だけ存在して反物質が存在しないのか.
- (F)**宇宙の初期特異点問題**. 時刻 0 のとき, 宇宙は密度が無限大の特異点になる. 物理的にどうやって説明するのか.
- (G)**時空の次元問題**. 私たちの住む時空は, なぜ, 4次元であって3次元や5次元でないのか.

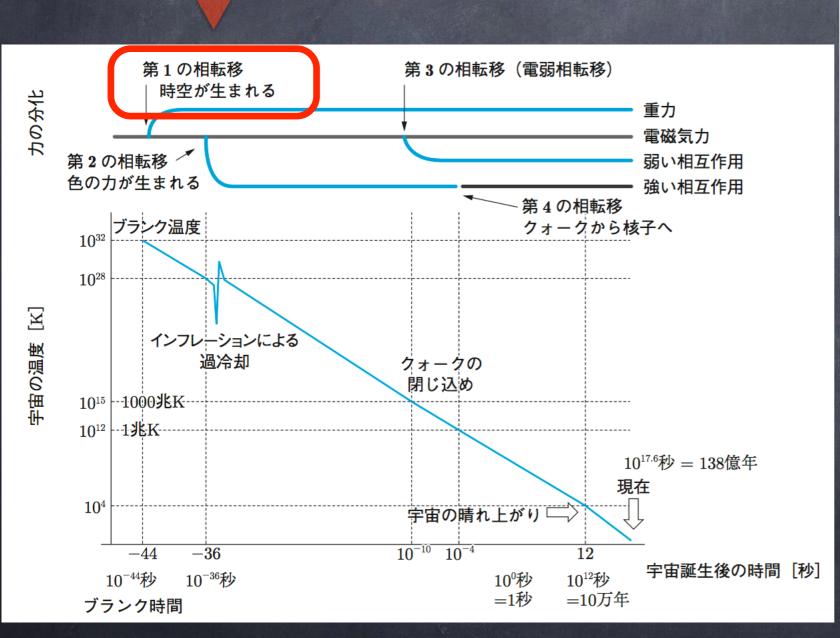
インフレーション宇宙モデル

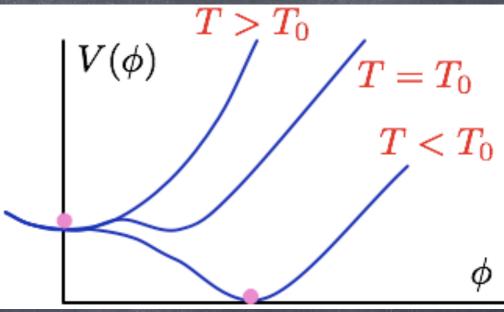


宇宙初期の相転移現象

物質の状態が変化すること 例)温度が下がると、水→氷

水の状態





氷の状態

教科書 p167

図5.17

日本人のノーベル物理学賞 受賞者 (2008)

Nobel Laureates in Physics: Japanese Laureates



南部陽一郎(米国籍) (2008) 素粒子物理学と核物理学における自発的対称性の破れの発見





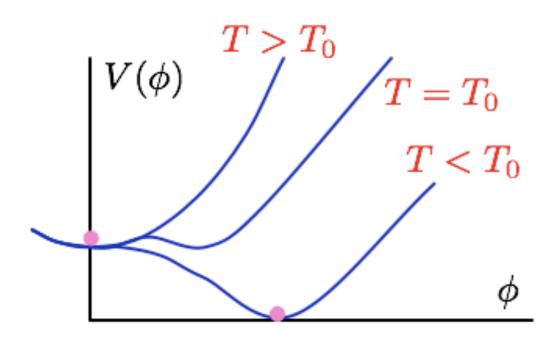
小林誠 益川敏英 (2008) クォークの世代数を予言する対称性の破れの起源の発見

one half awarded to Yoichiro Nambu "for the discovery of the mechanism of spontaneous broken symmetry in subatomic physics", the other half jointly to Makoto Kobayashi and Toshihide Maskawa "for the discovery of the origin of the broken symmetry which predicts the existence of at least three families of quarks in nature".



冷蔵庫にいれていたペットボトルの水を出すと、一瞬で凍った。

= 過冷却現象





Topic 過冷却と樹氷

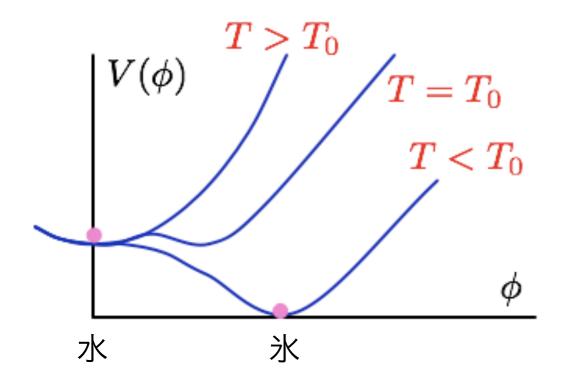
水が凍ったり、沸騰したりするきっかけは、不純物の混入による.精製水をゆっくりと-5°Cの冷蔵庫で凍らせようとしても、液体のまま(過冷却状態)であり、外気に触れた瞬間に凍りつくことになる.雪国などでみられる樹氷は、過冷却状態の水滴が木にぶつかって、一瞬で凍ることが一つの理由だという.



図 4.8 ぶつかると凍 る過冷却の風

冷蔵庫にいれていたペットボトルの水を出すと,一瞬で凍った.

= 過冷却現象

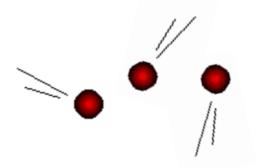


横軸 φ は、状態を表す変数 縦軸 V(φ) は、エネルギー。 (下へ行くほど安定な坂道)

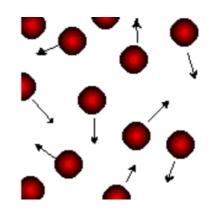
固体から液体へ=相転移現象

phase transition

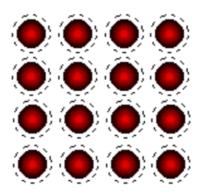




液体 (液相)



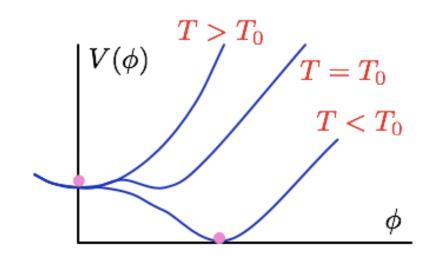
固体(固体相)



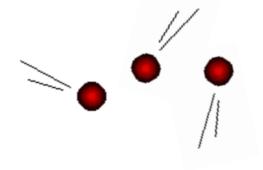
自発的対称性の破れ



南部陽一郎(米国籍) (ノーベル物理学賞 2008) 素粒子物理学と核物理学における 自発的対称性の破れの発見 for the discovery of the mechanism of spontaneous broken symmetry in subatomic physics

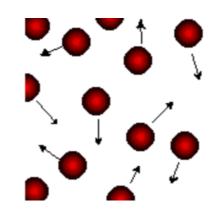


気体 (気相)

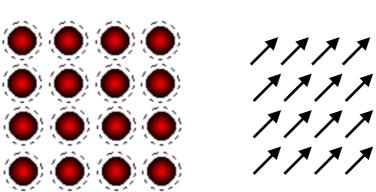


対称性の高い状態 (平均すればゼロ)

液体 (液相)

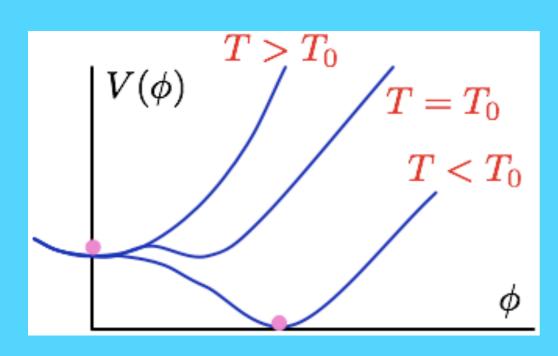


固体(固体相)



対称性の破れた状態

インフレーション宇宙モデル

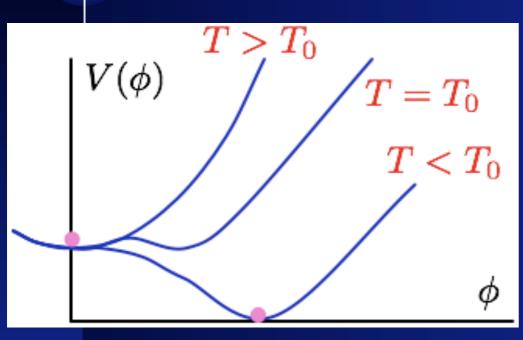


偽真空

真の真空

インフレーション膨張

インフレーションは偽真空の 泡の衝突で終わる.

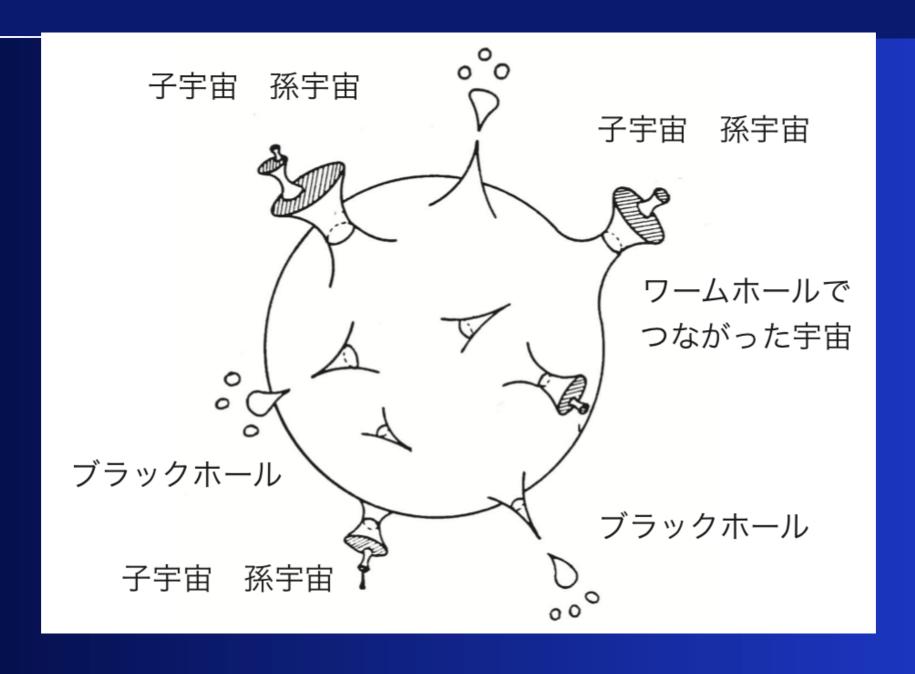


超高温超高密度の ビッグバンのはじまり

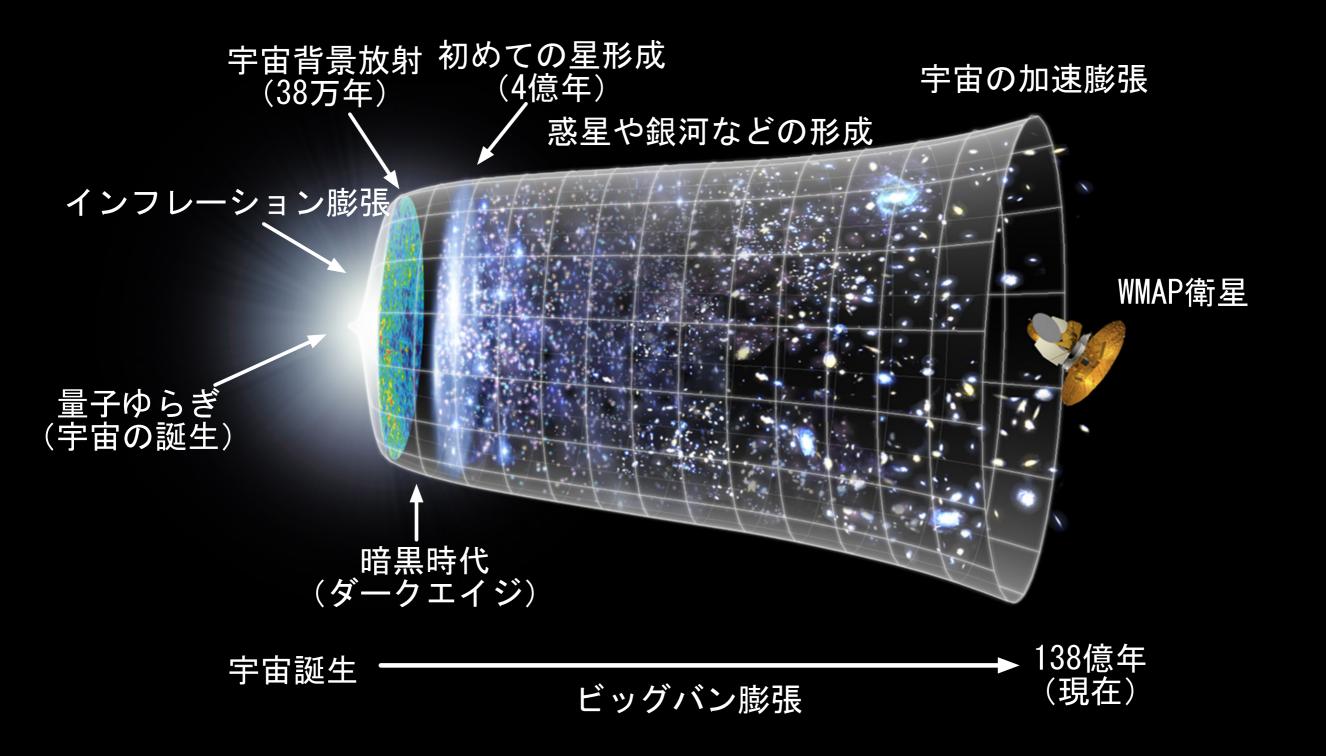
偽真空



宇宙は我々の宇宙だけではなかった



universe multiverse



2014年3月 宇宙背景輻射にBモードのゆらぎを発見!

→ インフレーション宇宙を確認!!





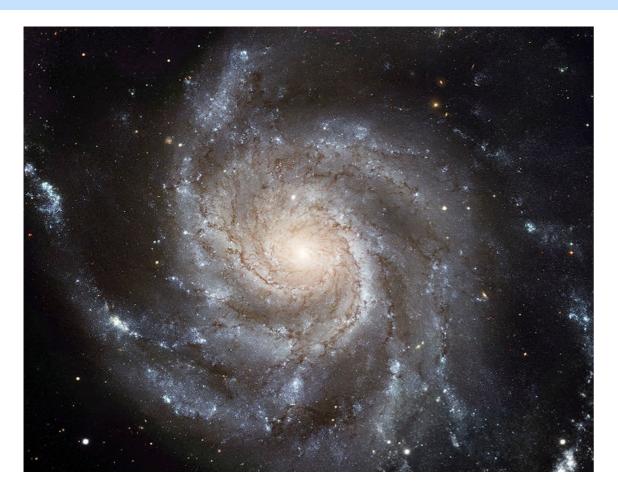


2014年6月 結論は尚早. 他のグループでの確認必要.

6. 標準宇宙論 >> 6.5 宇宙論のモデルを決める最近の観測結果

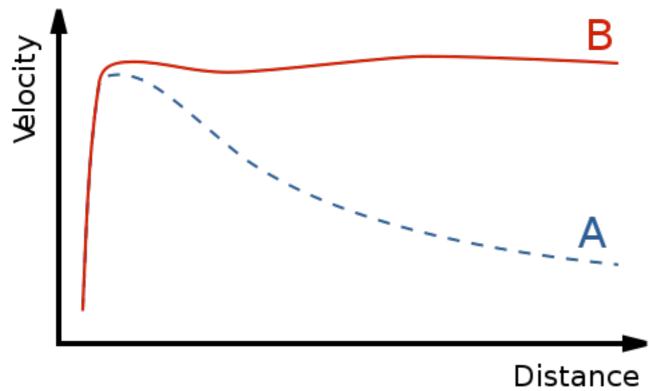
6.5.1 ダークマター:見えていない質量

p113



ミッシングマス問題

楕円銀河の回転速度は, 「光る星の6倍以上の質量が 存在する」ことを示す。

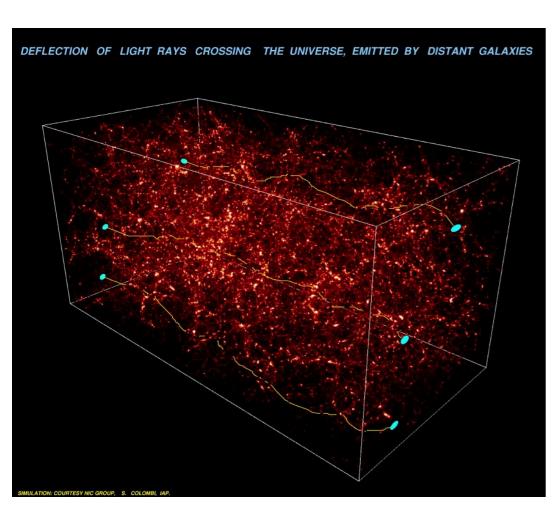




Vera C Rubin (1928--2016)

重力レンズによるダークマターの検出

p115



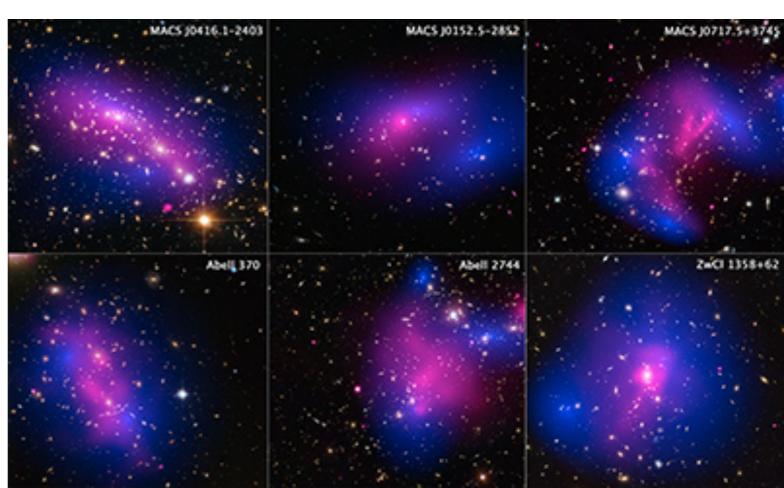


図 6.11: 〔左〕銀河団のシミュレーション結果に、光の進む様子を描き込んだ図。ダークマターを含んだ銀河によって、光の経路が歪む様子がわかる。

[http://www.cfht.hawaii.edu/News/Lensing/]

〔右〕銀河団の衝突による質量分布. ピンク色が高温ガスの分布, 青い部分がダークマターの分布を表す. ダークマターが銀河と重なって分布していることがわかる.

[http://hubblesite.org/newscenter/archive/releases/2015/10/full/]

素粒子論からのダークマターの候補

- **ニュートリノ** ○微小な質量を持つことがわかっている
 - ×宇宙全体では量が不足、銀河形成モデルとも合致せず

- **ニュートラリーノ** ○超対称性理論を仮定すれば自然に登場する粒子
 - ×未発見.

アキシオン

温度ゼロの仮想の粒子×未発見

天体物理学からのダークマターの候補

ブラックホール・白色矮星・中性子星

恒星進化の最後の姿だが、どの位存在するのかが未知.

褐色矮星・惑星 恒星へなれなかった小さな星. これも存在量が未知.

結局. 不明のまま.

未知の素粒子は何か、に期待が高まっている

ダークマター発見か?



真貝 寿明

2016年9月26日 · ❷ ▼

先週物理学会会場で衝撃を与えたと話題になったダークマターが、勤務先で も100円で売られていた。

"Dark Matter" is now available everywhere in Japan.



┢ いいね!

■ コメントする 🗼 シェアする



△

横山恵理さん、林有利恵さん、他30人



Guido Fawkes Is it for wimps or machos?

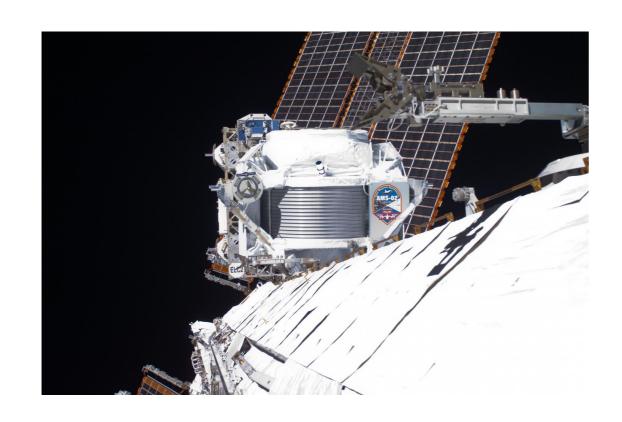
いいね!・返信・2016年9月27日 3:13

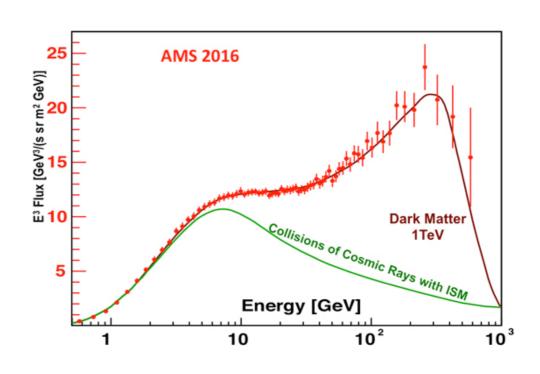


真貝 寿明 Of course, MACHO (a massive chocolate).

いいね!・返信・🖒 4・2016年9月27日 6:57

ダークマター発見か?



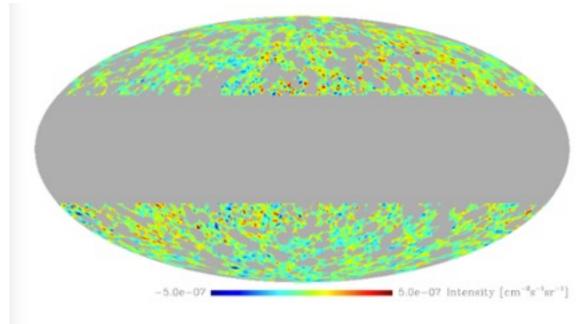


陽電子フラックスの観測データと理論モデルの比較 (出所: AMS Collaboration)

国際宇宙ステーションISSにヨーロッパの研究グループが設置した AMS (アルファ磁気検出器) が反陽子・陽電子を捉えたが、これまでのモデルでは説明できず、ダークマター由来のモデルだと合致する。 (2016年12月8日発表)

アムステルダム大学の研究チームは、天文観測衛星「フェルミガンマ線宇宙望遠鏡」が収集した宇宙ガンマ線背景放射のデータを精密解析した結果、ダークマター粒子の存在証拠は見つからなかったと発表した。(2016年12月28日発表)

http://news.mynavi.jp/news/2016/12/28/189/



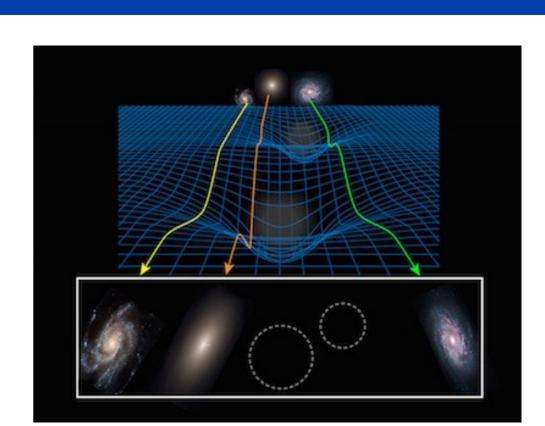
全天観測から得られた銀河系外の宇宙ガンマ線背景放射分析データ。銀河中心面を除いている。(出所: アムステルダム大学)

ダークマター不要

諸説紹介

ライデン天文台の研究チームは、宇宙における 重力分布の測定データを分析し、「エントロピック重力理論(ヴァーリンデ理論)」と一致する結果を得たと報告した、ダークマターの質量を仮定しなくても、重力レンズ効果が説明できるという。(2016年12月22日発表)

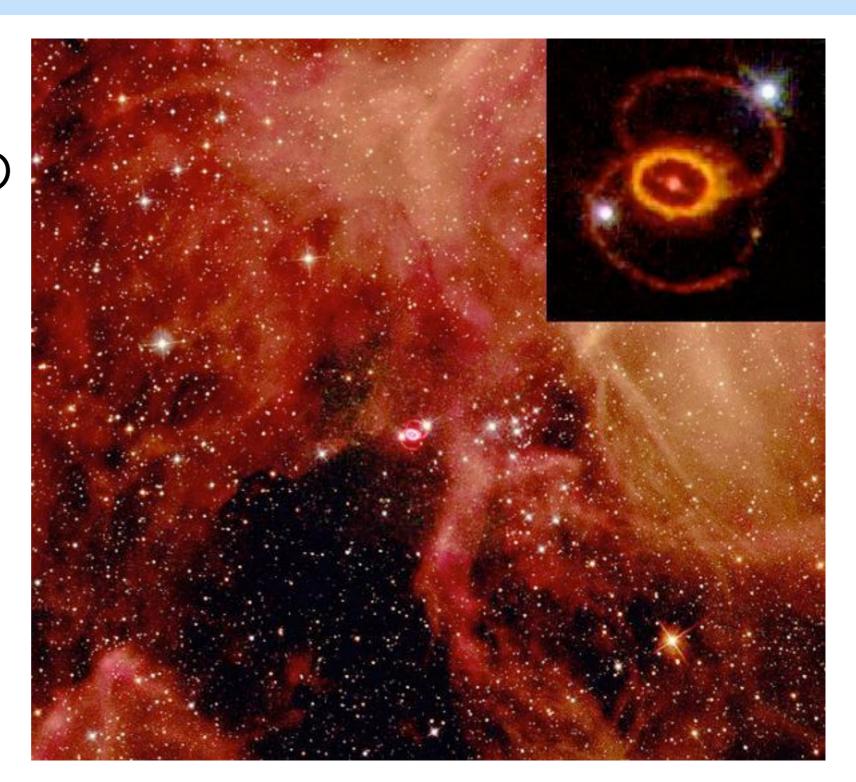
http://news.mynavi.jp/news/2016/12/22/230/



6.5.2 超新星による加速膨張の観測・ダークエネルギー?

超新星爆発

=燃え尽きた星の 最後の爆発



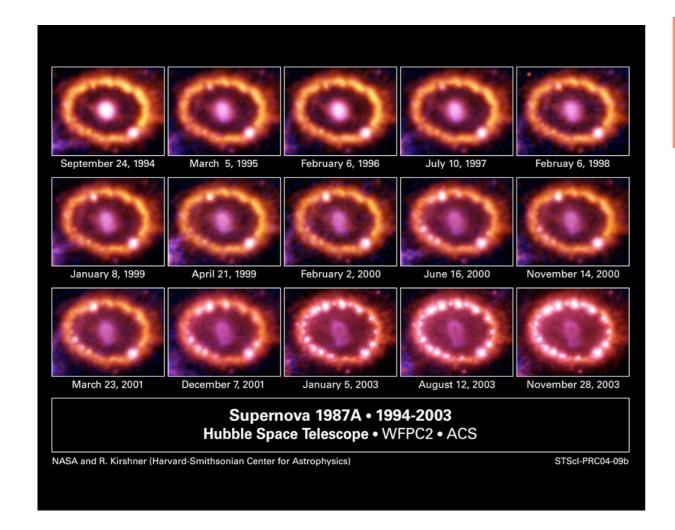
SN1987Aの2007年の画像

6.5.2 超新星による加速膨張の観測・ダークエネルギー?

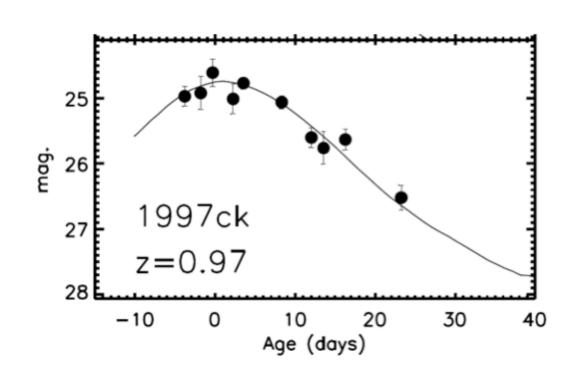
超新星爆発=スタンダードキャンドル

爆発のメカニズムは物理的に決まっている。どの超新星爆発もほぼ同じ質量の星が 爆発するので、放出されるエネルギーも同じ、

爆発後の減光のしかたも同じ、超新星爆発ではカルシウムや鉄、ニッケルなど、重 い元素がどんどん作られるが、その変化のしかたも同じになる、スペクトルから元 素の構成比を観測することで、爆発後のどの時期に相当するのかもわかる。



観測される明るさから 距離が正確に判定できる



6.5.2 超新星による加速膨張の観測・ダークエネルギー?



Saul Perlmutter

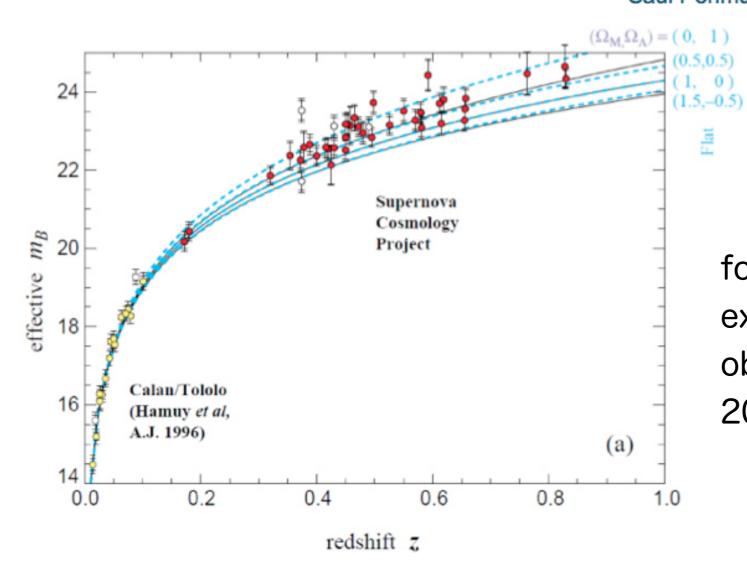


Brian P. Schmidt



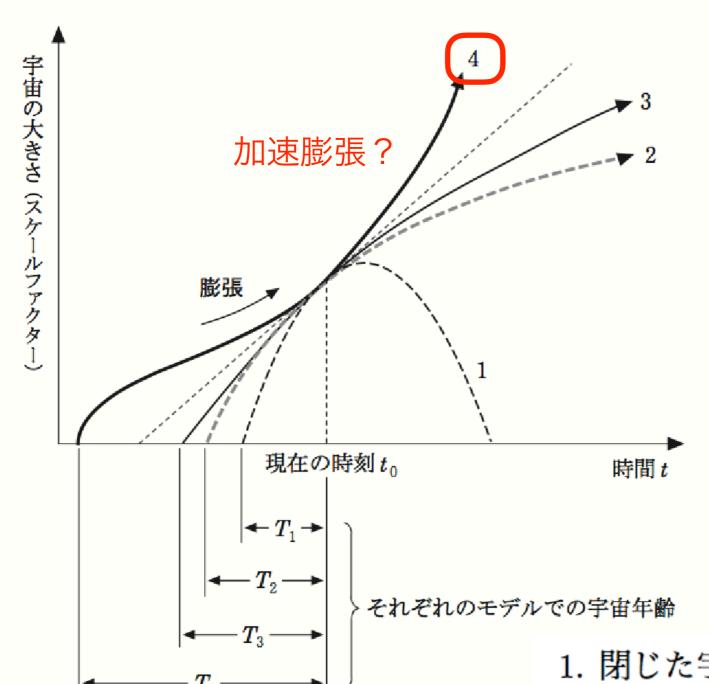
Photo: U. Montan

Adam G. Riess



for the discovery of the accelerating expansion of the Universe through observations of distant supernovae. 2011年ノーベル物理学賞受賞

膨張宇宙モデル



- 1. 閉じた宇宙で宇宙項なし. $\Lambda = 0, k = +1$.
- 2. 平坦な宇宙で宇宙項なし. $\Lambda=0, k=0$.
- 3. 開いた宇宙で宇宙項なし. $\Lambda = 0, k = -1$.
- 4. 平坦な宇宙で宇宙項あり. $\Lambda > 0, k = 0$.

重力場の方程式 (一般相対性理論)

空間の曲がりがモノの運動を決める ⇔モノがあると空間が曲がる

<空間の歪み>

$$R_{\mu\nu} - \frac{1}{2}g_{\mu\nu}R = \frac{8\pi G}{c^4}T_{\mu\nu}$$

くモノの分布>

②アインシュタイン の理論を修正する

膨張宇宙の解

な物質を考える.

ダークエネルギー

①斥力を及ぼす特殊

修正重力理論

我々は特殊な位置

ビッグバンモデル

③フリードマン宇宙モデルの前提となった「宇宙原理」を疑う



の観測結果を疑う

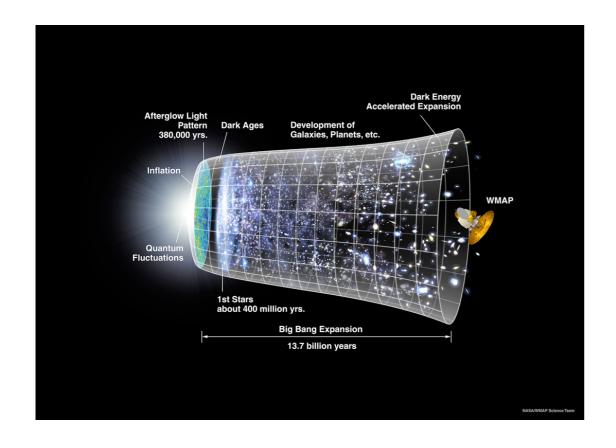
加速膨張の発見

6.5.3 宇宙マイクロ波背景輻射(CMB)の観測

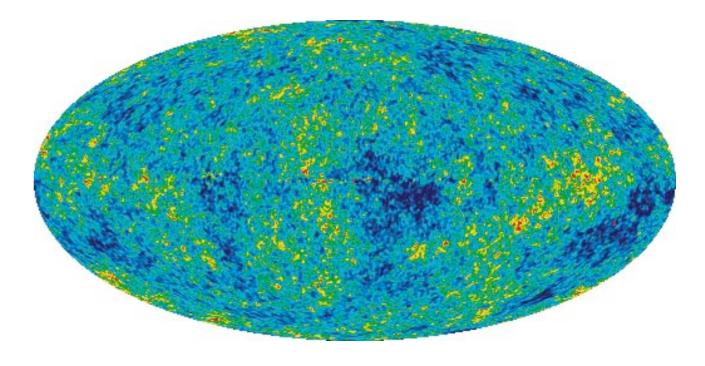
p118

Cosmic Microwave Background (CMB)

宇宙誕生後,38万年のとき,温度の低下によって物質が形成されはじめ,光が直進できるようになった。このときの光が、宇宙全体を満たしており、CMBと呼ばれる。



現在では、温度 2.7K に相当する完璧な Planck分布の電磁波であることが知られていて、そのスペクトルのゆらぎなどから、宇宙論パラメータのフィッティングが行われている.

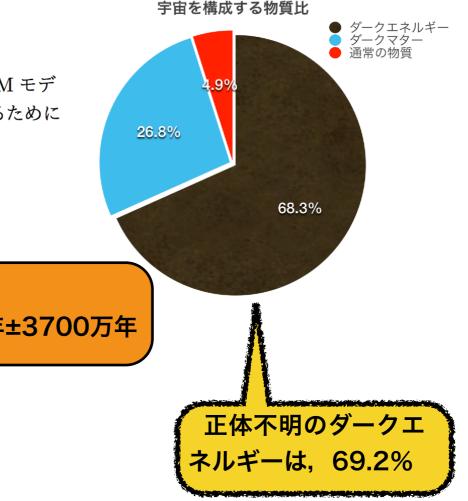


6.5.3 宇宙マイクロ波背景輻射(CMB)の観測

p118

表 **6.1:** Planck 衛星による観測チームが発表した宇宙論パラメータ (2015 年). 左欄の P. は Λ CDM モデルを決める 6 つのパラメータ,C. はモデルを決めると計算されるパラメータ,F. はモデルを決めるために設定したパラメータを示す.

	パラメータ	記号	值	
P.	バリオン密度	$\Omega_b h^2$	0.02230 ± 0.00014	
P.	ダークマター密度	$\Omega_c h^2$	0.1188 ± 0.0010	
P.	曲率ゆらぎ振幅	Δ_R^2	$2.441^{+0.088}_{-0.092} \times 10^{-9}$	
P.	宇宙年齡	t_0	137.99 億年 ±2100 万年 ◀	宇宙年齢は、
P.	CMB 放射の光学的深さ	au	0.066 ± 0.012	137.98億年:
P.	スカラースペクトル指数	n_s	0.9667 ± 0.0040	
C.	ハッブルパラメータ	H_0	$67.74 \pm 0.46~\mathrm{[km/s/Mpc]}$	(F.3)
C.	バリオン (通常の物質)	Ω_b	$4.86 \pm 0.10\%$	(F.4)
$\mathbf{C}.$	冷たいダークマター	Ω_{CDM}	$25.89 \pm 0.57\%$	
C.	ダークエネルギー	Ω_{Λ}	$69.11 \pm 0.62\%$	(F.5)
C.	臨界密度	$ ho_{ m crit.}$	$(8.62 \pm 0.12) \times 10^{-27} \text{kg/m}^3$	
$\mathbf{C}.$	CMB 放射の赤方偏移	$z_{ m eq}$	1089.90 ± 0.23	
C.	CMB 放射時の宇宙年齢	$t_{ m eq}$	37万7700年±3200年	
$\mathbf{C}.$	再イオン化の赤方偏移	$z_{ m red}$	$8.5^{+1.0}_{-1.1}$	
C.	$8h^{-1}{ m Mpc}$ でのゆらぎ振幅	σ_8	0.8159 ± 0.0086	
F.	状態方程式パラメータ	w	-1	(-1 なら宇宙項)
F.	テンソル・スカラー比	r	0	
F.	全密度パラメータ	$\Omega{ m tot}$	1	



銀河団 (cluster),宇宙の大規模構造

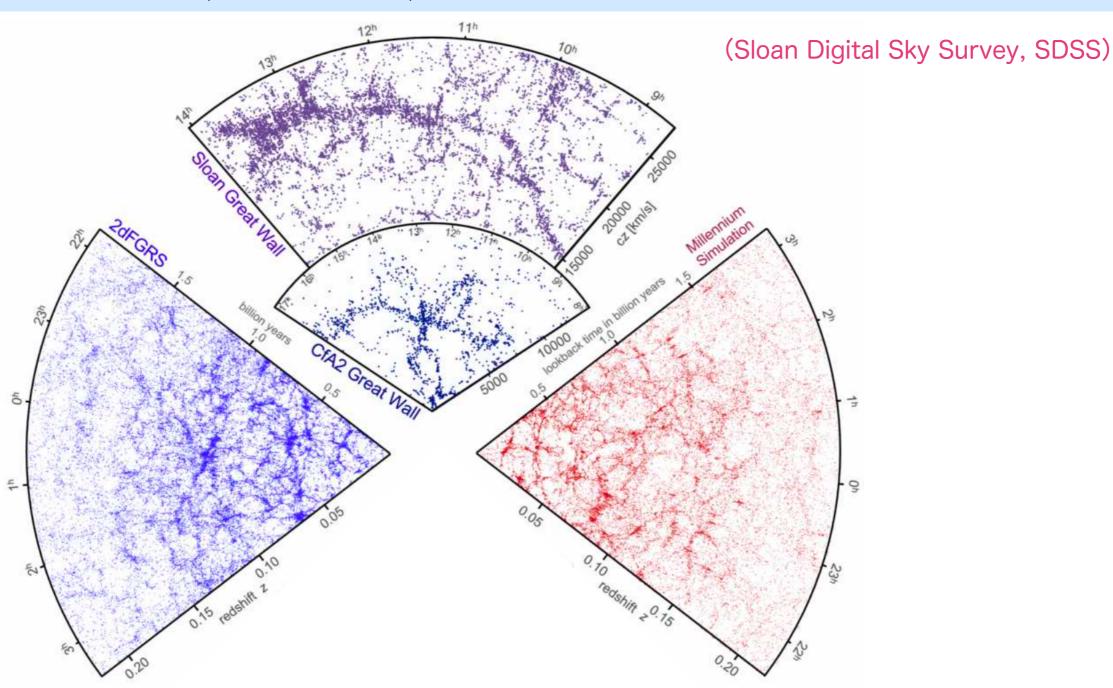


図 1.35 銀河の分布観測とシミュレーションによる疑似分布を並べたもの. 〔上〕SDSS サーベイによる銀河の分布図と図 1.34 を重ねたもの. SDSS は、北天から見える 65 万個以上の銀河を 2 億光年まで示している. 1.3 億光年の距離に及ぶ 1 万個以上のグレートウォール (万里の長城) も新たに発見された. 〔左〕2dFGR サーベイによる銀河の分布図. 南天の 22 万個以上の銀河を 2 億光年まで示している. 〔右〕ミレニアム・シミュレーションという数値計算結果を似せて示したもの. [Springel, Frenk, White の論文 (2006) を加工]

65万個の銀河分布を観測 (2006)



メン・イン・ブラック (1997)



宇宙をひもとく物理学

真貝寿明(しんかいひさあき)



10月25日 なぜ円ではなく楕円か ― ケプラーの惑星運動の法則

11月22日 光のドップラー効果 ― 宇宙膨張の法則

12月27日 星は何を燃やしているのか ― 特殊相対性理論

1月24日 時空のゆがみとブラックホール ― 一般相対性理論

2月28日 光は波なのか粒子なのか 一 量子論

3月28日 解明されている部分は5%? ― 宇宙論

http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/mainichi/

宇宙はどこまで解明されたか

真貝寿明(しんかいひさあき)



4月25日 天文学と宇宙物理学:観測技術の進展と星までの距離の測定

5月23日 惑星探査と太陽系外惑星探査:地球外生命体は見つかるか?

6月27日 星とブラックホールと惑星系と銀河:構造形成は何が先か?

7月25日 超新星爆発と宇宙論:6つのパラメータで描かれる膨張宇宙

8月29日 初期宇宙と素粒子物理:高次元モデルが描くビッグバン以前

9月26日 重力波と重力理論:アインシュタインはどこまで正しいか?

http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/mainichi/